

「セラピューティック・ボディワーク紹介講座」in 東京

～ ボディサイコセラピー（身体心理療法）の視点からの身体へのアプローチ ～

テーマ：頭痛の原因を探り、解放する

主催：リズムセラピー研究所

協力：Yokie

セラピューティック・ボディワーク連続講座（フェイズ1 / 2とも各7回）が好評につき、4期を開始する予定で、まずはどのようなことを学んで頂くかを知って貰うために紹介講座を開催します。心理学者であり、ロルフイングの生みの親であるアイダ・ロルフから直接トレーニングを受けたマーク・カフェル博士に師事し、心身に働きかける深部組織ボディワークを学び、卒業後すぐにボディワークを提供し始めてすぐに心理面・感情面への影響を実感したことから、心身へのケアのためにボディサイコセラピーを学び続け、現在に至ります。現在までの22年間、延べ数万人の方にボディワークを提供してきましたが、施術すればするほど身体・心・エネルギーが密接に繋がっていることと、この世に生まれてきてからの生き様が如何に身体・心・エネルギーの構造に現れていることを実感しています。

そのような私自身の経験と学んできた理論をもとに、他者に触れる場合の施術者の在り方など、私自身が大切だと感じていることをお伝えするとともに、ボディワークの技法のごく一部を教えることによって、日常生活で人に触れる際へのヒントにして頂く機会を設けました。今回は、頭痛の原因を探り、頭痛の原因となる緊張を心身から解放するために数ある手法のうちの一つを紹介します。



【内 容】

- 16日 講義：心身相関の概要と、ボディワークの心理的影響と効果
- 17日 講義：ボディサイコセラピーでは頭痛をどう捉えるか
- 17日 実習：ペアワークで頭痛の原因となる緊張を解放するワークを行う

【講座概要】

講師：賛川治樹（にえかわはるき）

申込み・お問い合わせ：Yokie（奥よう子） MAIL：YokieLNL@gmail.com

日程：6月16日（金）18時30分開始（18:00開場）～21時終了

6月17日（土）13時30分開始（13:15開場）～20時30分終了

※16日夜と17日全日の講座となりますが、16日夜のみで参加も可能です。16日は座学となります。16日夜のみの料金は3,240円（税込み）です。また、以前、ボディサイコセラピー入門講座に参加されたことのある方のみ、17日のみのご参加が可能となります。その場合の料金は、18,360円（税込み）です。

会場：東京都港区（会場の詳細は申し込まれた方にお知らせします）

対象：心身の相関関係に興味のある方、対人支援職の方など

定員：10名（最低開催人数：4名）

料金：21,600円（税込み）

参考にして頂くサイト：リズムセラピー研究所 <http://www.rhythmtherapy.jp/>

申込期日：2017年6月14日

BIPS <http://bodypsychotherapy.jp/index.html>

持ち物：筆記用具、動きやすい服装（17日のみ）

講師略歴 賛川治樹（にえかわはるき）

リズムセラピー研究所所長、BIPSディレクター&国内トレーナー、EABP (European Association for Body Psychotherapy) 認定トレーナー、バイオシンセシス認定ボディサイコセラピスト、シン・インテグレーション上級施術者、セロトニン道場師範、場の研究所研究員、ヤマハ株式会社音楽と健康プロジェクト・元アドバイザー、越後奥寂庵庵主。



1992年マーク・カフェル博士に師事し、1年間南アルプス山間集落でボディワークの研鑽を積み、1993年から現在まで、延べ数万人の方に深部組織ボディワークを行う。1993年より5年間のバイオシンセシストレーニングに参加し、1998年に資格を得る。

その後、ボディサイコセラピーの個人セッションを行うとともに、ワークショップを主催する。2006年よりBIPS国内トレーナーとして、セラピスト養成を行い、同時期にボディサイコセラピーに音楽を取り入れたリズムセラピー研究所を設立。九州大学、セロトニン道場、引きこもり親の会、韓国政府青少年委員会主催国際シンポジウム、不登校のサポート校、日本産業カウンセラー協会東京支部、リーダーシップ世界大会、コーチングフェスタ、重度身心障がい者授産施設、自治体の介護予防教室、乳幼児突然死症候群国際会議、ヤマハ音楽振興会などで講演と演習を提供している。2013年には日本的霊性を深めるために、場の研究所の研究員となる。2014年1月から2月にかけてインドのKaivalyadhama Yoga InstituteにてShri. O.P. Tiwari師に師事し、プラーナヤマを学ぶ。